

事務事業	11014	学童保育所運営事業	担当課 課長	子育て支援課 吉原 正治	担当係 担当者	保育係 櫻井 香
計後 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	130 子育てしやすい保育環境を整える		款	3	民生費
				項	4	児童福祉施設費
				目	3	学童保育費
法令根拠条例等		志免町学童保育所運営要綱	個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		S63 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 両親共働き等の理由により放課後帰宅しても保護者が不在である家庭の児童で、小学校に在籍する1年生から3年生までの児童を学校の余裕教室または専用施設を利用して預かる。月曜日から金曜日までは放課後から午後6時まで、土曜日・長期休暇期間中は午前8時から午後6時まで預かる。平日は19時までの延長保育を実施。事業運営については学童保育所在籍児童の保護者からなる志免町学童保育連合会に委託している。	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 委託料支払、入退所決定事務、運営支援等	主な事業費の内訳 学童保育委託料 28,555 千円
	電気・ガス料 2,112 千円
	指導員検便委託料 150 千円
	上下水道料 90 千円 消耗品費 16 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務事業の目的 ① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 放課後児童の預かり ② 対象(誰、何を対象にしているのか) 両親共働き等の理由で放課後帰宅しても保護者が不在である家庭の小学1年～3年までの児童とその保護者 ③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) ・放課後安全に遊び過ごせる ・子どもを預けることで安心して働ける	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 施設開放日数</td> <td>日</td> <td>291</td> <td>288</td> <td>291 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> </tbody> </table>			指標数値			名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 施設開放日数	日	291	288	291 (見込)	イ				(見込)	ウ				(見込)																																		
			指標数値																																																										
	名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																								
	ア 施設開放日数	日	291	288	291 (見込)																																																								
	イ				(見込)																																																								
	ウ				(見込)																																																								
⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 入所定員数(4学童)</td> <td>人</td> <td>380</td> <td>420</td> <td>420 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ 小学1～3年生児童数</td> <td>人</td> <td>1,605</td> <td>1,614</td> <td>1,644 (見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> </tbody> </table>			指標数値			名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 入所定員数(4学童)	人	380	420	420 (見込)	イ 小学1～3年生児童数	人	1,605	1,614	1,644 (見込)	ウ				(見込)																																			
		指標数値																																																											
名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																									
ア 入所定員数(4学童)	人	380	420	420 (見込)																																																									
イ 小学1～3年生児童数	人	1,605	1,614	1,644 (見込)																																																									
ウ				(見込)																																																									
⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ア 入所率(入所者/定員数)</td> <td rowspan="2">%</td> <td>目標</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>101.3</td> <td>97.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ 定員を超えたため入所できなかった児童数</td> <td rowspan="2">人</td> <td>目標</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>25</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウ</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エ</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オ</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			指標数値			名称	単位	27年度	28年度	29年度	ア 入所率(入所者/定員数)	%	目標	100.0	100.0	100.0	実績	101.3	97.1		イ 定員を超えたため入所できなかった児童数	人	目標	0	0	0	実績	25	0		ウ		目標				実績				エ		目標				実績				オ		目標				実績			
		指標数値																																																											
名称	単位	27年度	28年度	29年度																																																									
ア 入所率(入所者/定員数)	%	目標	100.0	100.0	100.0																																																								
		実績	101.3	97.1																																																									
イ 定員を超えたため入所できなかった児童数	人	目標	0	0	0																																																								
		実績	25	0																																																									
ウ		目標																																																											
		実績																																																											
エ		目標																																																											
		実績																																																											
オ		目標																																																											
		実績																																																											

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)	27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等	19,239	24,304	22,216	24,304	24,304
受益者負担等							
一般財源		5,892	11,341	8,711	11,269	11,269	11,269
合計(A)		25,131	35,645	30,927	35,573	35,573	35,573
(内臨時・嘱託職員人件費)							
	正職員人件費[按分](B)	3,552	11,191	11,333	12,958		
	トータルコスト(A)+(B)	28,683	46,836	42,260	48,531	35,573	35,573

# 事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
「子育てをしながら働き続けたい」という希望や、放課後の「かぎっ子対策」など、保護者からの要望により学童保育所設置に向けた運動がスタートし、昭和63年度より事業開始した。	厚労省は、平成25年11月に定員は40人以下が望ましく、これまでのおおむね10歳までとしていた対象年齢を小学校6年生までに引き上げると新しい基準を示した。	保護者から、夏休みだけの保育希望や、20時までの延長保育等の要望がある。学童保育連合会から、保護者からなる連合会役員での学童保育の運営は、負担等非常に厳しい状況にあるという声がある。

## (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	今後の安定的な運営と保育の充実が図れるよう、平成28年に運営委託先を選定する。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません)  <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	平成29年度から新たな委託先での運営に移行するため選定事務を進めていたが、選定途中での事務手続きの不手際により、決定まで至らず次年度に持ち越すこととなった。

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→) ② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	放課後、保護者が留守にしている家庭の児童に安全で安心して生活の場を提供することができる。  児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る必要がある。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	指導員の学習の機会や研修の機会を増やし、学童保育の場を児童にとって楽しく有意義な場となるようにしていきたい。小学6年生までの受け入れができるようにする。
<b>評価</b> ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	放課後留守家庭の児童が安全に安心して生活する場がなく、保護者が安心して働くことができない。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input type="checkbox"/> ない(理由→)	委託先の変更により、学童保育運営にかかる会議等の出席にかかる従事時間の削減が見込める。

### (2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

志免西第3・第4学童を新築し定員数を増やしたことにより、志免西学童の待機児童数は0人となった。また年度途中において、退所が生じたことによる待機児童への入所案内ができたため、待機児童は0人となった。委託先変更については、事務手続きの不手際により、平成29年度からの新たな委託先での運営ができない状況となり、引き続き保護者からなる学童保育連合会への負担を強いる結果となった。

## 3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

<b>(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)</b> <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<b>(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果</b> 学童保育の申し込みを小学校3年生までに限定していたものを、法改正に準じ小学校6年生までに拡大する。また、今後の安定的な運営と保育の充実が図れるよう、平成30年度から運営を移行できるよう、平成29年度に新たな委託先を選定する。
--	--